

令和3年度 彫刻美術館事業計画

1 彫刻美術館事業活動

(1) 展示活動 →変更あり。別紙に記載

概要 中原悌二郎の全12作品や歴代の中原悌二郎賞受賞作品などの常設展示を通じて、館が誇る収蔵作品の魅力をわかりやすく伝えるとともに、外部機関や団体との協働を図ることなどにより、できるだけ多彩な展示内容の企画展を開催し、リピーター層の確保に努めていく。

なお、展示の入替えの際は臨時休館して作業を行う。

ア 本館及び別館の展示内容 常設展示，企画展，収蔵品展～別紙案のとおり

(2) 教育普及活動

概要 彫刻の解説を聞く，制作を体験するといった市民対象の事業を実施し，見るだけでは分からないことや体験して感じられる部分を伝えることで，彫刻を愛好する層の拡大に努める。

ア 旭川彫刻散歩

(ア) 実施時期 令和3年9月中旬

(イ) 内容 市民を対象に，旭川市内の野外彫刻について親しむ機会を設けながら，彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に市内の野外彫刻等を講師の解説を交えながら鑑賞する。

(ウ) 定員 一般20名（市マイクロバス乗車定員）

イ こども彫刻教室

(ア) 実施時期 ①令和3年 8月上旬（夏休み期間中）

②令和3年12月中旬（冬休み期間中）

(イ) 内容 小学生とその保護者を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材，完成した作品の展示等については講師と相談し決定する。

(ウ) 定員 親子10組程度

- (エ) 会 場 本館研修室
(オ) 講 師 市内在住の大学教授，彫刻家，関連団体等から選任

(3) 彫刻巡回展示事業 **→変更あり。別紙に記載**

概 要 児童や生徒及び父母等に優れた彫刻作品を身近な環境で鑑賞してもらうために、市内の小中学校等を対象にして彫刻美術館が所蔵する作品を巡回展示する。
また、巡回展示実施校のうち希望校を対象として、巡回展示作品を鑑賞する出前授業を実施する。
なお、巡回展示は当館の単独事業であるが、出前授業については旭川地域連携アートプロジェクトの一環として、旭川市教育研究会図工美術部、北海道教育大学旭川校との協働により実施する。

ア 彫刻巡回展示 **→変更あり。別紙に記載**

- (ア) 時 期 I 期，II 期，III 期，IV 期，V 期（6 月～12 月）
(イ) 内 容 彫刻美術館収蔵作品を4～6 点ずつの4つのグループに分け、固定用の台座とともに市内小中学校等に各期4校ずつ巡回展示する。

イ 出前授業

- (ア) 時 期 巡回展示作品の展示期間中に実施校の希望日に実施する。
(イ) 内 容 巡回展示作品を使用した彫刻鑑賞授業を行う。
出前授業は旭川地域連携アートプロジェクトの一環として運営しており、同プロジェクト内の巡回展出前授業ワーキンググループで実施内容の精査検討や授業者の調整、派遣を行っている。

2 旭川彫刻フェスタ事業 **→変更あり。別紙に記載**

概 要 市の各部局と北海道新聞社、市内の美術関係者が実行委員会を組織して野外彫刻公開制作を中心とした市民参加型の事業を平成12年から実施している。
令和3年度は、令和2年度に延期した旭川彫刻フェスタ20周年記念事業の開催が予定されている。
なお、事業の詳細は実行委員会内の企画部会で協議・決定する。

(1) 企画展の開催

- ア 実施時期 令和3年8月28日～
イ 内 容 これまでの彫刻フェスタ参加作家が会する企画展を開催する。
ウ 会 場 本館企画展示室，ステーションギャラリー等

(2) ギャラリートーク等の実施

- ア 実施時期 (1) 企画展開催期間中
イ 内容 企画展参加作家による展示作品や彫刻フェスタに係るトークイベントを開催

3 野外彫刻維持管理事業

概要 野外に設置してある76点の彫刻を良好な状態に維持管理するために、ボランティアによる定期的な清掃活動やワックスの塗布を行うとともに、亀裂や退色等の傷みのある作品を修復する。

(1) 野外彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」

- ア 人数 令和2年度 140人
イ 活動内容 野外彫刻の水洗い清掃, ワックス塗布, 周辺環境整備を夏期間は毎月1回(計4~5回), 冬期間中の除雪点検を1回程度実施。
ウ 活動方法 市全域を8つに分け, 9班体制で受け持ちの地域と作品を決めて活動する。活動日は班ごとに決定する。
エ その他 野外彫刻たんさくマップを必要に応じて改訂し発行する。

(2) 野外彫刻の修復

彫刻サポート隊による点検等により異常が見つかった彫刻について, 必要に応じた修復を行い, 適正な維持管理を図る。

4 中原悌二郎賞 **→変更あり。別紙に記載**

概要 昭和45年の創設以来, 国内で発表された日本人作家の彫刻立体作品のうち, 最も優れた作品に中原悌二郎賞を贈呈している。

平成15年の第33回から隔年実施のビエンナーレ形式としており, 令和3年度は実施年に当たる。

これまで, 受賞作品(または同質の代替作品)は市費で購入し彫刻美術館の収蔵作品としてきたが, 令和3年度からは予算の範囲内で購入可能な受賞作家の作品を収蔵する方針に改めて実施する。

ア 第42回中原悌二郎賞選考委員会

- (ア) 実施日時 令和3年 5月29日(土)

- (イ) 会 場 OMO 7 旭川
(ウ) 内 容 平成31年(2019年)4月1日から令和3年(2021)年3月31日の間に、国内で発表された日本人の彫刻及び立体作品を対象にし、選考委員会による審議により、第42回中原悌二郎賞を選考する。

イ 第42回中原悌二郎賞贈呈式

- (ア) 内 容 受賞作家への贈呈式、記念講演会等を開催する。
(イ) 日 時 令和3年10月3日(日)
(ウ) 会 場 大雪クリスタルホール

5 各種団体への協力等

概 要 市内や道内の各種機関、団体等からの依頼に応じて講師の派遣や彫刻美術館での作品等の解説などを行い、市民の彫刻への理解関心を深めるよう努める。

(1) 中央中(旧常盤中)学校彫刻清掃

- ア 実施時期 令和3年5月頃 **→変更あり。別紙に記載**
イ 内 容 地域奉仕活動の一環として、過去30年に渡り市内中心部の野外彫刻清掃を実施している。彫刻美術館は、買物公園や本庁舎の水道栓使用申請に係る各部局との連絡調整と、脚立やスポンジの貸出しなどの協力を行う。

(2) 講師等派遣

- ア 内 容 公民館講座やシニア大学等の各団体が主催する事業について、要請を受けて職員を派遣し、彫刻と旭川をテーマとした講話を実施する。

6 社会教育施設との連携

概 要 社会教育全体の振興と各施設の利用促進のため、市内の社会教育施設が連携し協働して事業を実施する。

(1) 文化の日関連イベントの開催

- ア 実施日 令和3年11月3日(水)
イ 内 容 文化の日の取り組みとして、市内社会教育施設等が連携し、各施設の周知普及に努める。

(2) まなびピア関連イベントの開催

ア 実施日 令和4年2月上旬

イ 内容 まなびピアの取り組みとして、市内社会教育施設等が連携し、各施設の周知普及に努める。

7 博物館実習

概要 登録博物館として期待される社会的責務に応えるとともに当館の運営と活動に関する理解層の拡大を図るため、大学からの要請を受けて博物館実習を実施する。

(1) 実施時期 令和3年10月下旬からの2週間程度(実日数10日間)

(2) 内容 博物館の運営と事業に関する講話、事業体験、仮想企画立案演習等

(3) 対象 大学生1~4名程度

8 作品管理

概要 彫刻美術館では、中原悌二郎と周辺の近代彫刻家の作品、中原悌二郎賞受賞作家の作品、旭川と北海道ゆかりの彫刻家の作品、の3つを方針として作品収蔵を行っており、令和2度末現在、彫刻作品324点、平面作品901点を収蔵している。また、その他に彫刻作品の石膏原型や資料作品を多数収蔵している。

なお、近年は中原悌二郎賞受賞作品以外の購入費は予算付けされていないことから新収蔵は寄贈によるものが主となっている。

(1) 作品保管 彫刻美術館本館の収蔵庫及び展示準備室、ステーションギャラリーにある2室の収蔵庫で保管している。

企画展等で大型の作品や重量のある作品を移動する際には、館職員と公用車では対応できないため、運送業者への業務委託等により安全性を確保し、適正な作品管理を行う。

(2) 作品貸出 公立、私立等を問わず、作品の使用目的が公共性を有する展示の場合は当館の収蔵作品を積極的に貸出し、館の周知に努めている。貸出しの際には損害保険への加入など適切な作品管理を求めているが、貸出料は徴収していない。貸出しの要請を受けた場合は随時検討する。

9 新型コロナウイルス感染症対策

概 要 彫刻美術館の事業実施に当たっては、「新しい生活様式等に基づく旭川市社会教育施設利用ガイドライン」に則り、新型コロナウイルス感染拡大の防止に万全を期すほか、国、道、市内外での感染状況等に応じて本計画の見直しや事業の中止も含めて臨機応変に対応する。

令和3年度 彫刻美術館企画展(案)

彫刻美術館本館(旧旭川偕行社)・企画展		イベント		彫刻美術館ステーションギャラリー(JR旭川駅構内)・企画展		
(R03/3/3) ~5/9(日)	企画展「中原悌二郎賞創設50周年特別展」 ・中原悌二郎賞創設50周年にあわせて、歴代受賞作品(代替作品)を展示する。		4月	(R02/3/27) ~5/30(日)	中原悌二郎賞創設50周年特別展「& MORE in Station Gallery」 ・本館で開催して中原悌二郎賞創設50周年特別展にあわせて、ステーションギャラリーでも作品を紹介する。	
5/15(土) ~8/22(日)	収蔵品展 ・彫刻美術館収蔵作品の中から、テーマを決めて紹介する。	・中原賞 選考委員会 ・子供彫刻教室①	5月	6/4(金) ~6/30(水)	ADW関連展「生き続けるモダニズム建築展」	
			6月			
			7月			7/3(土) ~8/22(日)
			8月			
8/28(土) ~9/26(日)	彫刻フェスタ20周年記念展 in Museum	・彫刻散歩	9月	8/28(土) ~9/26(日)	「彫刻フェスタ20周年記念展 in Gallery」	
10/2(土) ~1/10(月)	中原悌二郎賞関連展 ・第42回中原悌二郎賞の選考年であることから、中原賞に関連した展示を行い、第42回中原賞受賞作品及び受賞作家も紹介する。	・中原賞贈呈式 ・11/3 文化の日 ・子供彫刻教室②	10月	10/2(土) ~11/14(日)	「大学生作品展2022」 ・若い世代の作品発表の機会として、市内大学生による作品展を開催する。	
			11月			
			12月	11/20(土) ~2/20(日)	「チェアーズギャラリー展 II期」	
1/15(土) ~次年度	企画展「平面コレクション展」 ・彫刻美術に収蔵している約900点の平面作品の中からテーマを決めて紹介する。	・まなびびあ	1月			2/26(土) ~次年度
2月						
3月						

令和3年度彫刻美術館事業計画からの変更内容

(令和3年6月14日現在)

1 彫刻美術館事業活動

(1) 展示活動

新型コロナウイルス感染拡大及び緊急事態宣言発令に伴い、彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーを令和3年5月17日から令和3年6月20日まで臨時休館したことから、彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーの展示内容及び展示期間を変更

ア 本館及び別館の展示内容 常設展示、企画展、収蔵品展～別紙変更案のとおり

(2) 教育普及活動

変更なし

(3) 彫刻巡回展示事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会期を短縮し実施

ア 彫刻巡回展示

(ア) 時 期 III期、IV期、V期（9月～12月）※I期及びII期は中止

(イ) 内 容 変更なし

イ 出前授業

実施の可否及び方法について検討中

2 旭川彫刻フェスタ事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーにおける20周年記念事業を令和4年度に再延期

- 3 野外彫刻維持管理事業
変更なし

- 4 中原悌二郎賞
 - ア 第42回中原悌二郎賞選考委員会
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、第42回中原悌二郎賞選考委員会の開催を5月から秋に延期

 - イ 第42回中原悌二郎賞贈呈式
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、10月の贈呈式の開催を延期し、年度内の開催について検討中

- 5 各種団体への協力等
 - (1) 中央中（旧常盤中）学校彫刻清掃
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月の実施を中止し、年度内での実施を検討中

 - (2) 講師等派遣
変更なし

- 6 社会教育施設との連携
変更なし

- 7 博物館実習
変更なし

- 8 作品管理
変更なし

- 9 新型コロナウイルス感染症対策
変更なし

令和3年度 彫刻美術館企画展(変更案) 令和3年6月14日現在

彫刻美術館本館(旧旭川偕行社)・企画展		イベント		彫刻美術館ステーションギャラリー(JR旭川駅構内)・企画展	
(R03/3/3) ~5/9	企画展「中原悌二郎賞創設50周年特別展」 ・中原悌二郎賞創設50周年にあわせて、歴代受賞作品(代替作品)を展示する。		4月	(R03/3/27) ~7/12(月) ※緊急事態宣言に伴う臨時休館(5/17~6/20)	中原悌二郎賞創設50周年特別展「& MORE in Station Gallery」 ・本館で開催して中原悌二郎賞創設50周年特別展にあわせて、ステーションギャラリーでも作品を紹介する。
5/15(土) ~9/26(日) ※緊急事態宣言に伴う臨時休館(5/17~6/20)	収蔵品展 ・彫刻美術館収蔵作品の中から、テーマを決めて紹介する。	・子供彫刻教室①	5月	7/17(土) ~9/5(日)	「チェアーズギャラリー展 I期」
			6月		
			7月		
			8月		
			9月		
10/2(土) ~1/10(月)	企画展「平面コレクション展」 ・彫刻美術に収蔵している約900点の平面作品の中からテーマを決めて紹介する。	・11/3 文化の日 ・子供彫刻教室②	10月	10/9(土) ~11/14(日)	「大学生作品展2021」 ・若い世代の作品発表の機会として、市内大学生による作品展を開催する。
			11月		
			12月		
1/15(土) ~次年度	中原悌二郎賞関連展 ・第42回中原悌二郎賞の選考年であることから、中原賞に関連した展示を行い、第42回中原賞受賞作品及び受賞作家も紹介する。	・まなびぴあ	1月	2/26(土) ~次年度	企画展
			2月		
			3月		